

令和2年度若手教員授業力向上研修会（授業力パワーアップセミナー）

学校教育目標は何を目指しているのか！

平成28年度から県北の若手教員を対象に開催されている標記研修会ですが、今年度の1日目を8月5日（水）に開催しました。この研修会は岡山大学と津山教育事務所が共催して実施している事業です。管内小中学校10校の若手教員と先輩教員28名が、大学の先生の講義を真剣に聴講したり、個人やグループでの演習に熱心に取り組んだりしていました。

【学校教育目標・校内研究主題・めざす子ども像や育みたい力】

○授業力向上を目的とした研修のスタートは、参加者が個々に自校の教育目標などを整理したり、今年度の授業改善や指導の重点を確認したりすることから始まりました。学校要覧等何も見なくてもすらすらと記述している参加者がほとんどで、頼もしく思えました。

自校の先生
方は
すぐに
書け
ます
か。

岡山大学 金川舞貴子 准教授のミニ講話より ※岡山大学から16名の先生が参加。

【学校教育目標・めざす子ども像（授業づくりにどう結びついていくか。）】

- 自分の学校は様々な教育活動や学校生活全体を通してどのような人間を育てるのか、学校としての意思を表明したもの。
- 学校が何を問題とし、それはどれだけ解決されたか、解決されない面は何か。また、児童生徒の多様な考え方、社会の状況の変化を折り込んで、新たに組み入れられるべき事柄は何か等に関して、全教職員で検討し作成したもの。

津事より

授業づくりは、まさに学校教育目標やめざす子ども像（ビジョン）を具現化していくための重要なマネジメント活動の一つです。

【学校経営目標・学校経営計画（授業づくりにどう結びついていくか。）】 第13号②

○児童・生徒を学校教育目標やめざす子ども像に示している人間へと育むためには、どのような土壌（学校、教職員、家庭、地域）であつたらいいのか、我々の学校をどういう学校にしたいのかを学校経営者である校長がプランニングしたもの。

津事
より

授業づくりをはじめ様々な教育活動を進めていくためのよりよい土壌（環境）を、学校経営者である校長がどのように耕していくか（整備していくか）をまとめたプランが学校経営計画であり、そのため、めざす学校像やめざす教職員像が示されていたり、知・徳・体に関わる具体的な取組（戦略）が示されていたりもします。

【校内研修（授業づくりにどう結びついていくか。）】

- 校内研修は、学校教育目標や児童生徒の実態等を踏まえつつ、教職員の職能成長と学校改善を図るために、学校全体で組織的に取り組む研修活動。
- 研修テーマ（研究主題）は、学校教育目標の実現に向けて、前年度の成果や課題、改善点等を全教職員で整理した上で、今年度、教職員が何に、どのように力を注ぎ、また自分たちはどんな力を高めていけばいいのか、その方向性を示すもの。
- 研修テーマ（研究主題）が備える条件
 - ・時代性（社会的ニーズに基づく課題。）・独自性（「自分の学校」にとって、今、何が問題か。）
 - ・共通性（教科や学年の違いを超えて取り組める課題、教職員の必要感に支えられ、共通の課題として認識されていること。）
 - ・多様性（多様なアプローチが可能なもの。教職員のオリジナリティが発揮できる。）

津事
より

授業づくり（授業研究）の核になる部分です。自校の授業改善の視点は明確になっているでしょうか。それぞれの学級や教科で、何にどのように取り組んでいくのか、そしてどのような力を高めていくのかがしっかりと共有できているでしょうか。

校内研修で、教育
目標やAPの確認
をしてみましよう。

学校経営アクションプラン（AP）は、学校教育目標（ビジョン）の実現のためにプラン化した学校経営計画をもとに、具体的取組を重点化し見える化した学校全体で取り組む戦略です。